

「平成30年度全国学力・学習状況調査」における

岬町の調査結果概要

平成30年10月

岬町教育委員会

全国学力・学習状況調査における本町の調査結果 平成30年10月

1. 調査の目的

- (1) 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。

2. 調査の名称及び実施日

『平成30年度全国学力・学習状況調査』 実施日：平成30年4月17日(火)

3. 調査の対象

小学校第6学年（110名）、 中学校第3学年（111名）

4. 調査の内容

(1) 学力に関する調査

小学校：国語 A・算

数 A（主として「知識」に関する問題）

国語 B・算数 B（主として「活用」に関する問題）

理科（物質、エネルギー、生命、地球）

中学校：国語 A・数学 A（主として「知識」に関する問題）

国語 B・数学 B（主として「活用」に関する問題）

理科（物理、化学、生物、地学）

主として「知識」に関する問題

- ◇身につけておかなければ後の学年に影響を及ぼす内容
- ◇実生活において不可欠であり、常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能 など

主として「活用」に関する問題

- ◇知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力
- ◇様々な課題解決のための構想を立て、実践し、評価・改善する力 など

(2) 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

児童生徒に対するアンケート調査

- ◇学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査

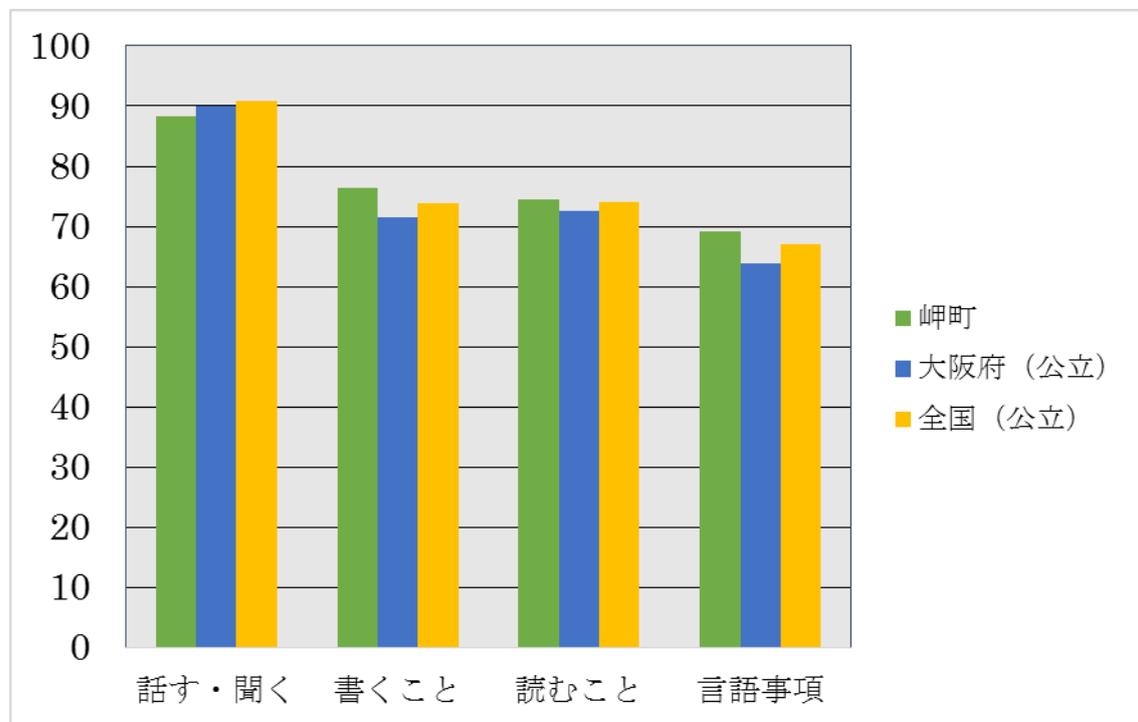
学校に対するアンケート調査

- ◇指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査

小学校国語A

◇問題等 国語Aの問題は、主として知識に関する問題

◇調査結果 学習指導要領の領域別



◀ ◎昨年度に続けての良好・○良好・●課題・■昨年度に続けての課題 ▶

■「話すこと・聞くこと」については、対全国比-2%の正答率であり、昨年と続いて課題がある。

◎「書くこと」については、対全国比+2.6%の正答率であり、昨年と続いて良好である。

○「読むこと」については、対全国比+0.5%の正答率であり、概ね良好である。

○「伝統的な言語文化(言語事項)」については対全国比+2.2%の正答率であり、良好である。

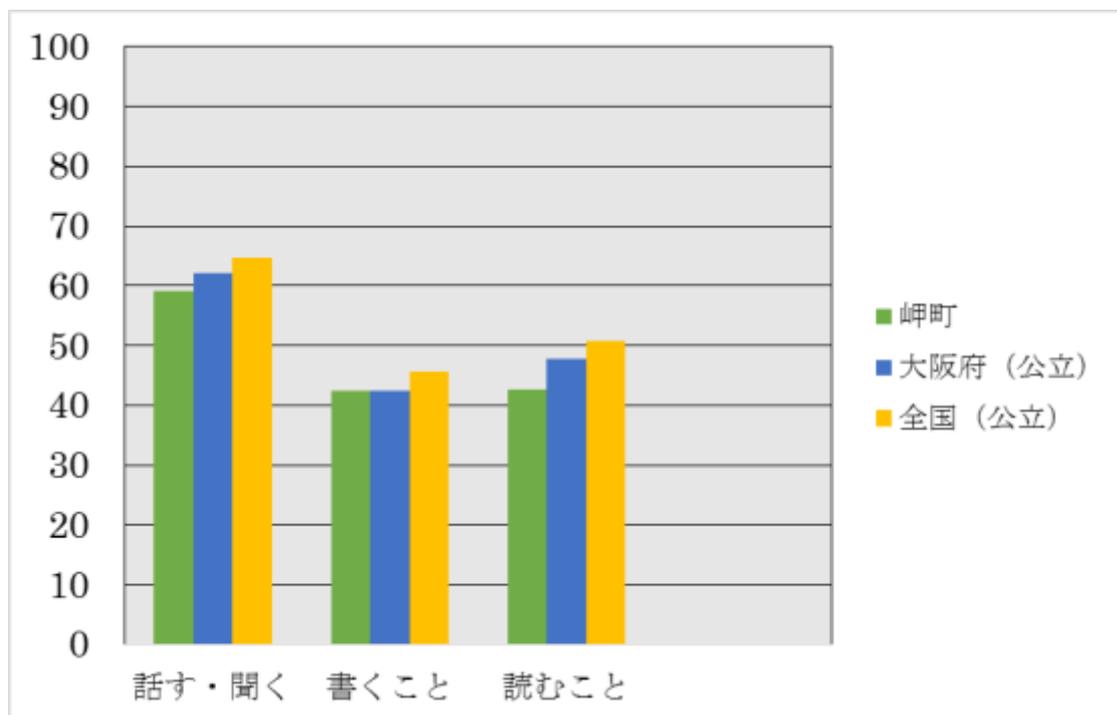
◇A区分問題にみえる成果と課題

- ・主として知識に関する問題については、対全国比+1.3%（前年は+0.2%）の正答率で良好であり、良化傾向である。
- ・漢字や敬語、慣用句の習得については、全ての問題で対全国比で上回っている。
- ・選択式の問題形式については、よくできているが、短答式の問題形式では対全国比-18.2%と課題が大きい。（問題の概要：つながりが合っていない文を選択し、正しく書き直す）

小学校国語B

◇問題等 国語Bの問題は、主として活用に関する問題

◇調査結果 学習指導要領の領域別



◀ ◎昨年度に続けての良好・○良好・●課題・■昨年度に続けての課題 ▶

- 「話す・聞く」については、対全国比-5. 5%の正答率であり、課題が大きい。
- 「書くこと」については、対全国比-3. 1%の正答率であり、課題がある。
- 「読むこと」については、対全国比-8. 1%の正答率であり、昨年に続き、課題が大きい。

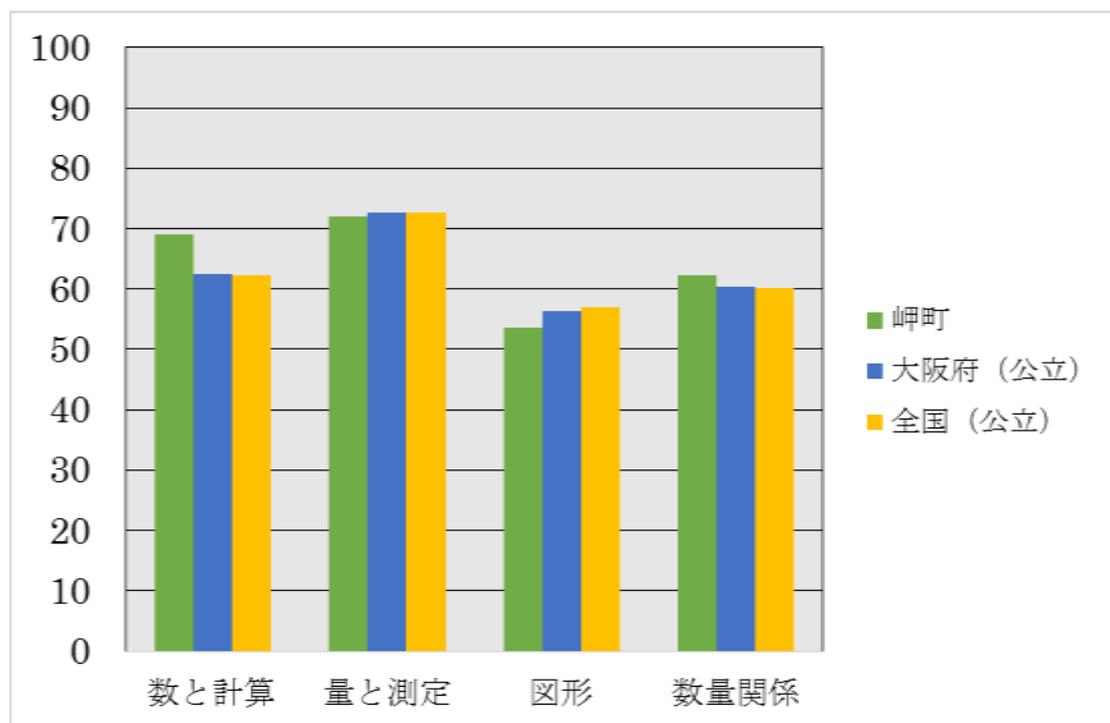
◇B区分問題にみえる成果と課題

- ・主として活用に関する問題については、対全国比-4. 7%（前年-1. 5%）と、課題が大きくなった。
- ・問題形式（記述式、選択式）に対しての対全国比正答率の差は見られなかった。
- ・目的に応じて、複数の文章を読む（理解する）ことに課題がある。（対全国比-11. 2%）
- ・目的に応じて内容を的確におさえ、自分の考えを明確にしながら読む（理解する）ことに課題がある。（対全国比-5%）（問題の概要：最も心をひかれた一文とその理由の文章を書く）

小学校算数A

◇問題等 算数Aの問題は、主として知識に関する問題

◇調査結果 学習指導要領の領域別



◀ ◎昨年度に続けての良好・○良好・●課題・■昨年度に続けての課題 ▶

◎「数と計算」については、対全国比+6.8%の正答率であり、昨年引き続き良好である。

○「量と測定」については、対全国比-0.7%の正答率であり、概ね良好である。

■「図形」については、対全国比-3.3%の正答率であり、昨年引き続き課題がある。

◎「数量関係」については、対全国比+2.1%の正答率であり、昨年引き続き良好である。

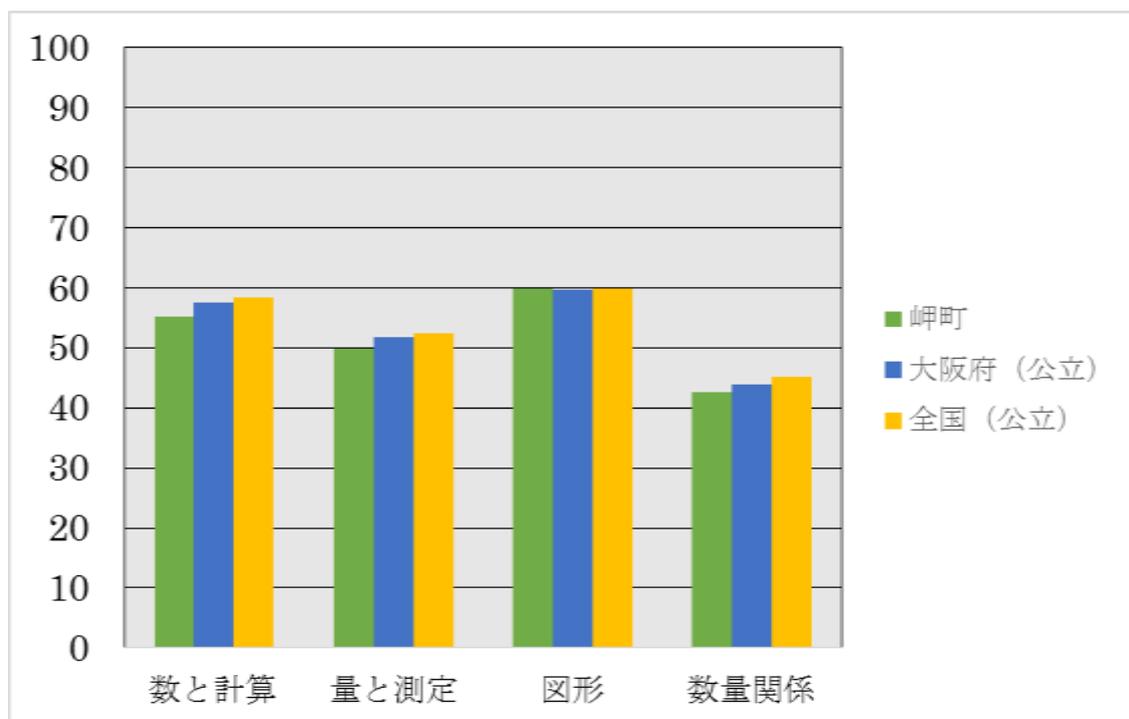
◇A区分問題にみえる成果と課題

- ・主として知識に関する問題については、対全国比+1.5%（前年は+5.4%）の正答率であり、引き続き良好である。
- ・問題形式（選択式、短答式）に対しての対全国比正答率の差は見られなかった。
- ・数と計算（対全国比+6.8%）、数量関係（対全国比+2.1%）について、よくできている。
- ・図形については、円周率の求め方を選ぶ問題で課題がある。（対全国比-14.3%）

小学校算数B

◇問題数等 算数Bの問題は、主として活用に関する問題

◇調査結果 学習指導要領の領域別



◀ ◎昨年度に続けての良好・○良好・●課題・■昨年度に続けての課題 ▶

- 「数と計算」については、対全国比-3. 1%の正答率であり、課題がある。
- 「量と測定」については、対全国比-2. 6%の正答率であり、昨年に続いて課題がある。
- ◎「図形」については、対全国比+0. 1%の正答率であり、昨年に続いて概ね良好である。
- 「数量関係」については、対全国比-2. 4%の正答率であり、課題がある。

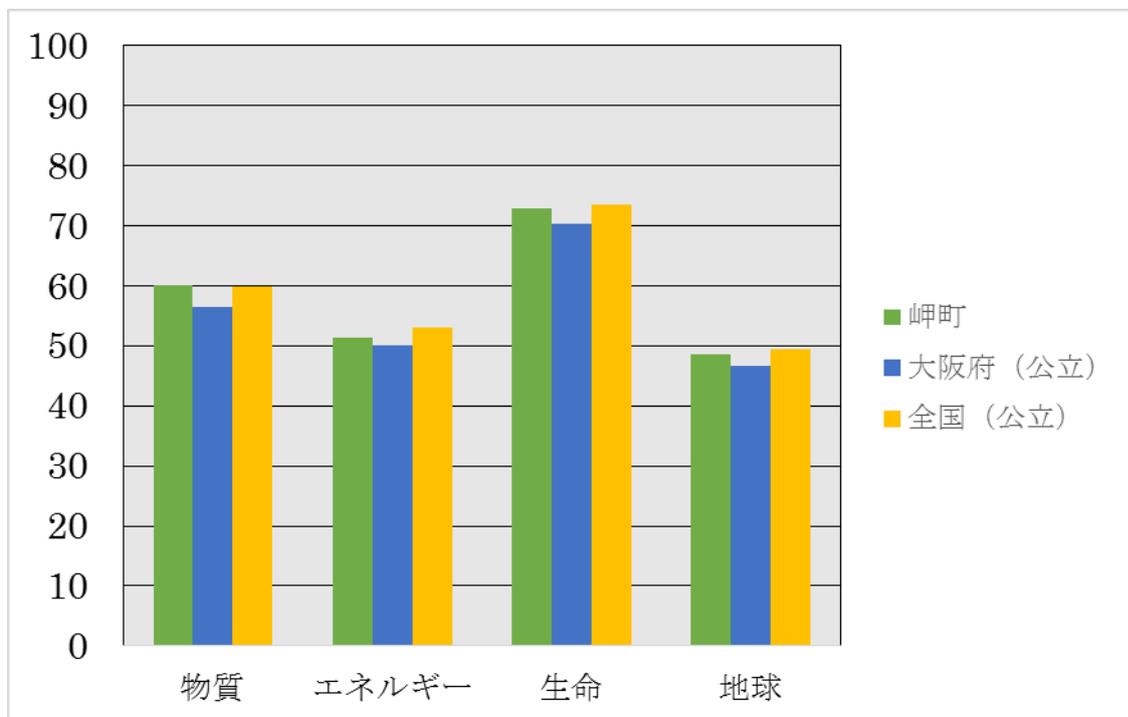
◇ B区分問題にみえる成果と課題

- ・主として活用に関する問題については、対全国比-2. 5%（前年+0. 1%）と、課題がある。
- ・問題形式（選択式、短答式、記述式）による対全国比の差は見られない。
- ・数学的な考え方を問う問題について、課題がある。（対全国比-3. 1%）
（問題の概要：横の長さが7mの黒板に、輪かざりをつけるために必要な折り紙の枚数が100枚あれば足りるわけを書く・・・など）

小学校理科

◇問題等 主として知識に関する問題と主として活用に関する問題を一体的に問う

◇調査結果 学習指導要領の領域別



◀ ◎前回に続けての良好・○良好・●課題・■前回に続けての課題 ▶

- 「物質」については、対全国比+0.4%の正答率であり、概ね良好である。
- 「エネルギー」については、対全国比-1.7%の正答率であり、課題がある。
- 「生命」については、対全国比-0.6%の正答率であり、概ね良好である。
- 「地球」については、対全国比-0.9%の正答率であり、概ね良好である。

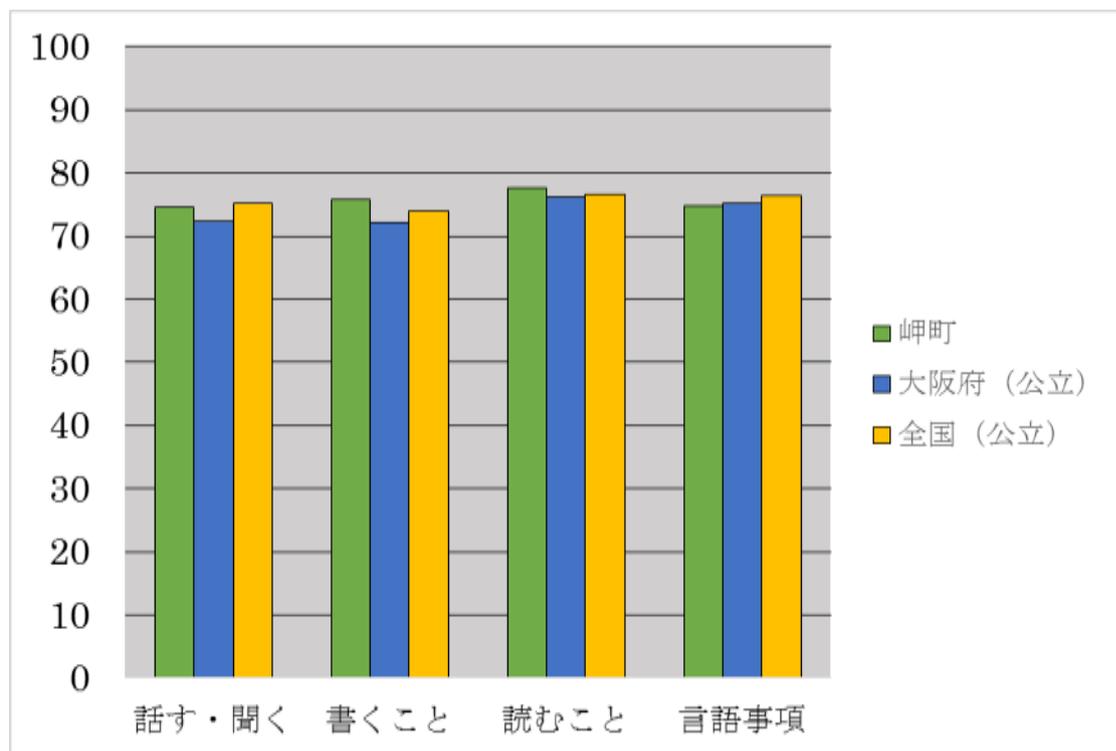
◇ 問題区分にみえる成果と課題

- ・理科全体としては、対全国比-1.3%と、課題があるが前回と比較すると改善している。(前回対全国比-5.2%)
- ・主として「知識」に関する問題については、対全国比-1%と課題がある。
- ・主として「活用」に関する問題については、対全国比-1.2%と課題がある。
- ・乾電池のつなぎ方を変えると、電流の向きが変わることを実際の回路に適用する問題について、課題がある。(対全国比-8.6%)

中学校国語A

◇問題数等 国語Aの問題は、主として知識に関する問題

◇調査結果 学習指導要領の領域別



◀ ◎昨年度に続けての良好・○良好・●課題・■昨年度に続けての課題 ▶

- 「話すこと・聞くこと」については、対全国比－0.7%の正答率で概ね良好である。
- 「書くこと」については、対全国比＋1.8%の正答率であり、良好である。
- 「読むこと」については、対全国比＋1%の正答率であり、良好である。
- 「言語事項」については、対全国比－1.7%の正答率であり、昨年に続いて課題がある。

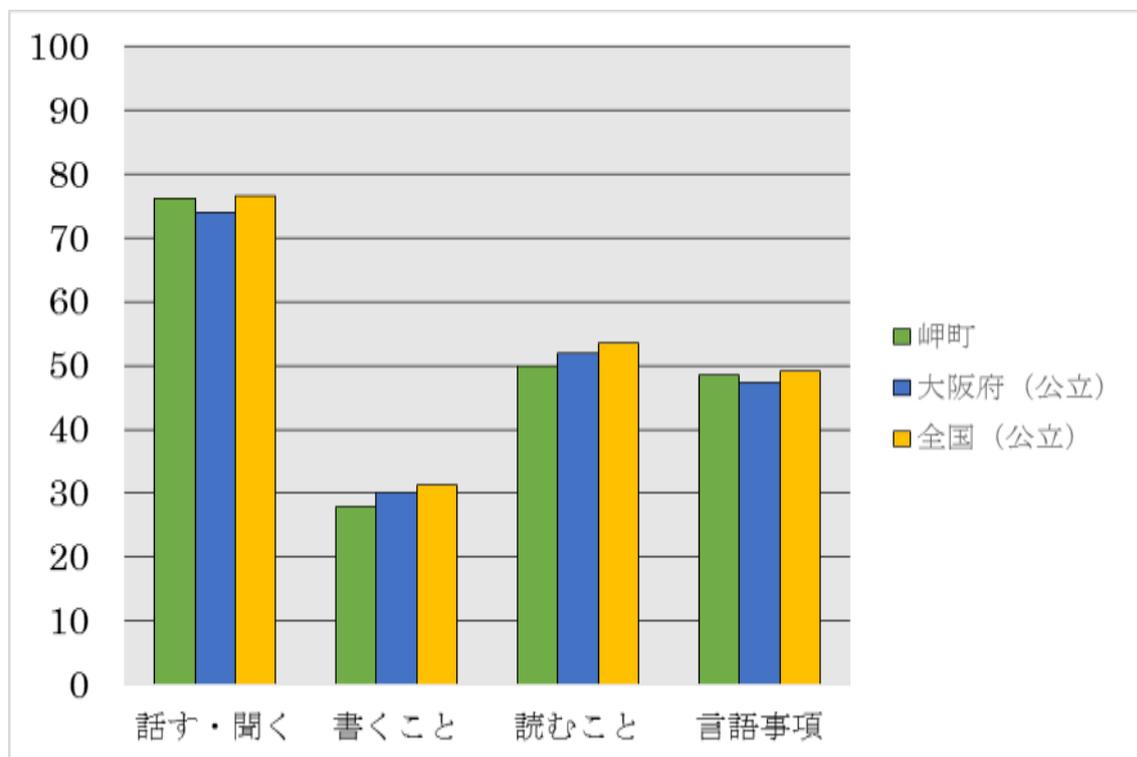
◇A区分問題に見える成果と課題

- ・主として知識に関する問題については、対全国比－1.1%（前年は－3.4%）の正答率であり、課題があるが、良化傾向である。
- ・問題形式（選択式、短答式）に対する対全国比正答率の差は見られなかった。
- ・漢字の読み書きについては、概ね良好である。
- ・語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使うことについて、課題がある。（7問中5問が対全国比で下回った）

中学校国語B

◇問題数等 国語Bの問題は、主として活用に関する問題

◇調査結果 学習指導要領の領域別



◀ ◎昨年度に続けての良好・○良好・●課題・■昨年度に続けての課題 ▶

- 「話すこと・聞くこと」については、対全国比－0.3%の正答率で概ね良好である。
- 「書くこと」については、対全国比－3.4%の正答率であり、昨年に続いて課題がある。
- 「読むこと」については、対全国比－3.5%の正答率であり、昨年に続いて課題がある。
- 「言語事項」については、対全国比－0.6%の正答率であり、概ね良好である。

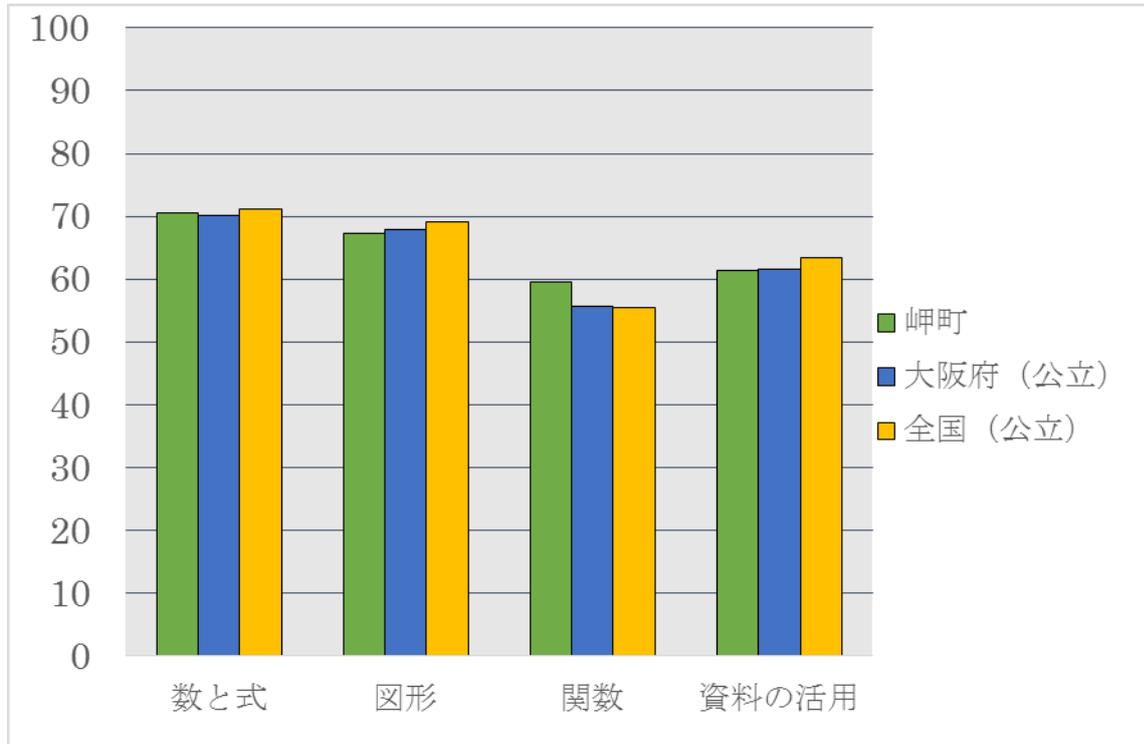
◇B区分問題にみえる成果と課題

- ・主として活用に関する問題については、対全国比－2.2%（前年は－4.2%）の正答率であり、課題はあるものの、良化傾向である。
- ・問題形式（選択式、短答式）に対しての対全国比正答率の差は見られなかった。
- ・文章とグラフとの関係を考えながら内容を捉えることに課題がある。（対全国比－7.2%）
- ・目的に応じて文章を読み、内容を整理して書くことに課題がある。（対全国比－6.1%）
（問題の概要：「天地無用」という言葉を誤った意味で解釈してしまう人がいる理由を書く）

中学校数学A

◇問題数等 数学Aの問題は、主として知識に関する問題

◇調査結果 学習指導要領の領域別



◀ ◎昨年度に続けての良好・○良好・●課題・■昨年度に続けての課題 ▶

- 「数と式」については、対全国比-0.6%の正答率であり、概ね良好である。
- 「図形」については、対全国比-1.9%の正答率であり、昨年に続いて課題がある。
- 「関数」については、対全国比+4%の正答率であり、良好である。
- 「資料の活用」については、対全国比-2.2%の正答率であり、昨年に続いて課題がある。

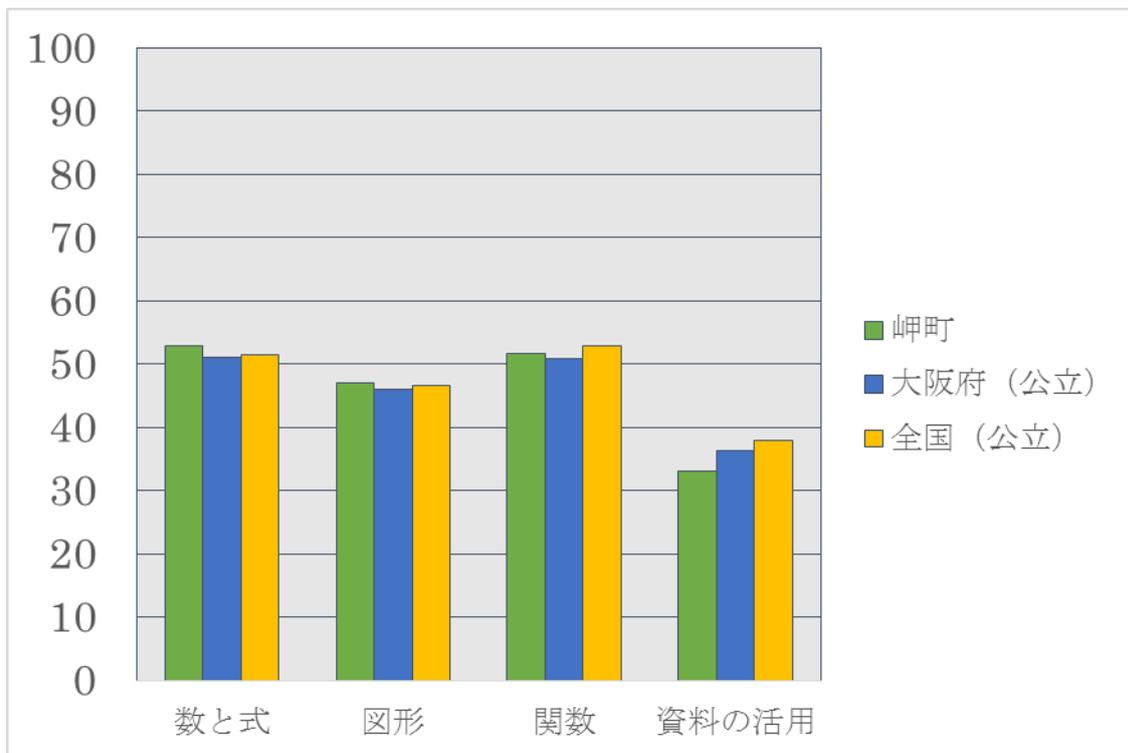
◇ A区分問題にみえる成果と課題

- ・主として知識に関する問題については、対全国比-0.1%（前年は-2.6%）の正答率であり、概ね良好であり良化傾向である。
- ・選択式の問題形式に対して、課題がある。（12問中10問が対全国比で下回った）
- ・基礎的な意味の理解（絶対値、関数等）について、よくできている。
- ・2つの三角形が合同であるために、必要な辺や角の相等関係の理解について課題がある。（対全国比-6.2%）

中学校数学B

◇問題数等 数学Bの問題は、主として活用に関する問題

◇調査結果 学習指導要領の領域別



◀ ◎昨年度に続けての良好・○良好・●課題・■昨年度に続けての課題 ▶

- 「数と式」については、対全国比+1.5%の正答率であり、良好である。
- 「図形」については、対全国比+0.4%の正答率であり、概ね良好である。
- 「関数」については、対全国比-1.1%の正答率であり、昨年に続いて課題がある。
- 「資料の活用」については、対全国比-4.9%の正答率であり、課題がある。

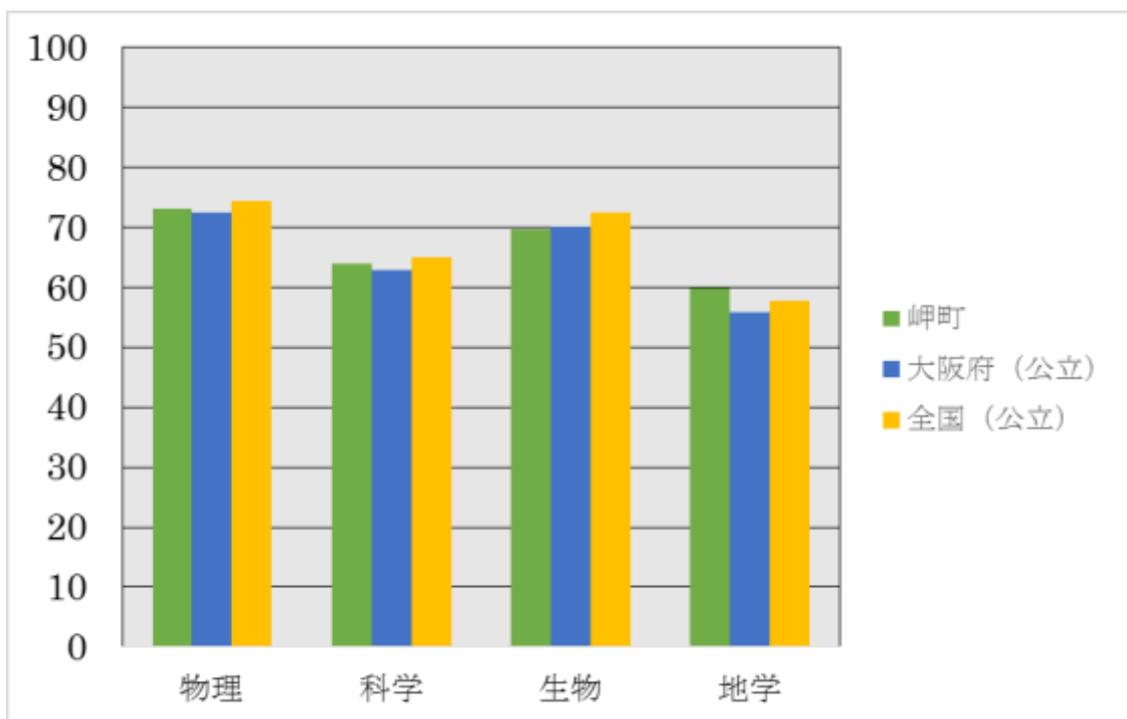
◇B区分問題にみえる成果と課題

- ・主として知識に関する問題については、対全国比-0.9%（前年は-3.1%）の正答率であり、概ね良好であり、良化傾向である。
- ・記述式の問題形式について、良好である。（対全国比で5問中4問上回った）
- ・与えられた情報を分類整理し、事象の起こりやすさの傾向を捉えることについて課題がある。（対全国比-10.6%）（問題の概要：放送計画で、1日目がA、2日目がBになる確率を求める問題）

中学校理科

◇問題数等 主として知識に関する問題と主として活用に関する問題を一体的に問う

◇調査結果 学習指導要領の領域別



◀ ◎前回に続けての良好・○良好・●課題・■前回に続けての課題 ▶

- 「物理」については、対全国比－1.2%の正答率であり、課題がある。
- 「化学」については、対全国比－1%の正答率であり、前回に続いて課題がある。
- 「生物」については、対全国比－2.7%の正答率であり、課題がある。
- ◎「地学」については、対全国比＋2%の正答率であり良好である。

◇ 問題区分にみえる成果と課題

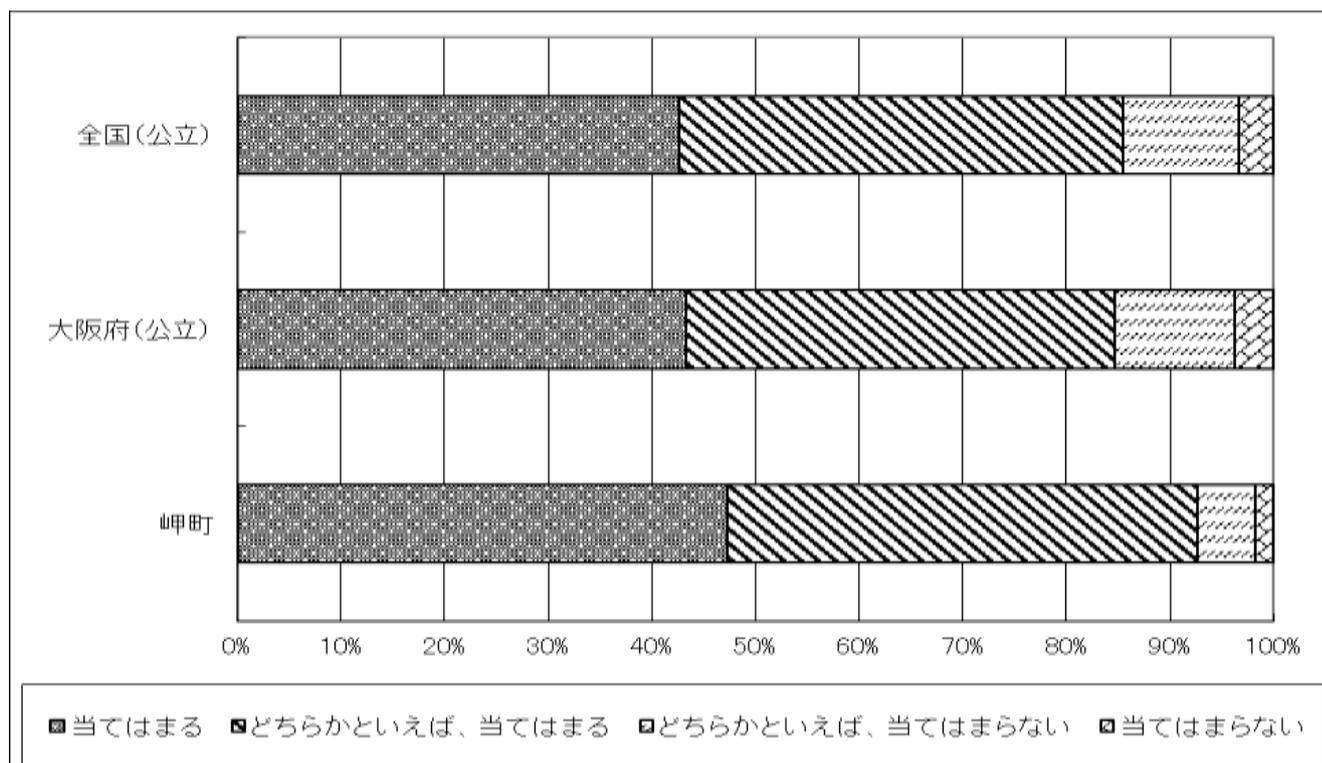
- ・理科全体としては、対全国比－1.1%と、課題があり、前回と比較すると課題が大きくなる傾向にある。(前回対全国比＋0.4%)
- ・主として「知識」に関する問題については、対全国比＋0.1%と概ね良好である。
- ・主として「活用」に関する問題については、対全国比－0.9%と概ね良好である。
- ・アルミニウムの原子の記号の表し方について、課題がある。(対全国比－7.8%)

岬町の子どもたちの生活の様子

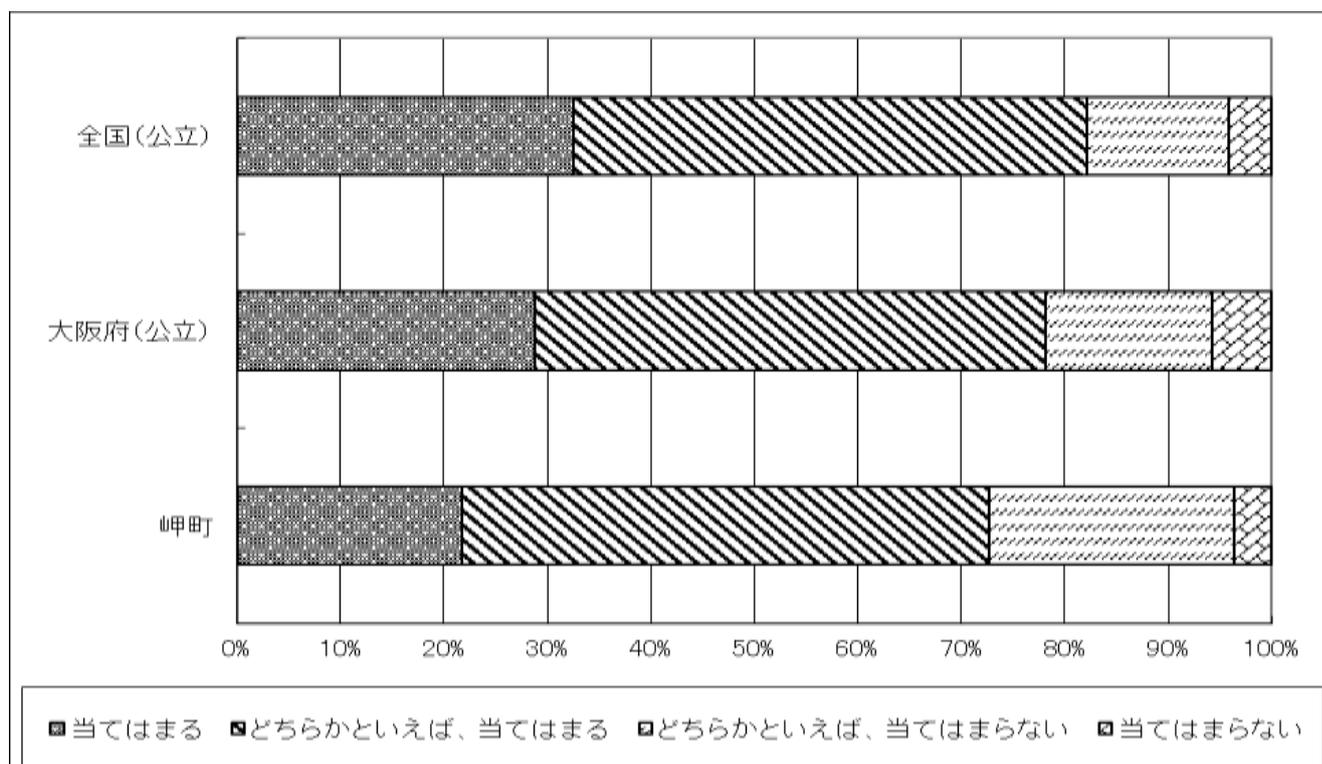
(小学校・中学校)

—児童・生徒質問紙より—

1. 先生は、あなたのよいところを認めてくれていますか（小学校）

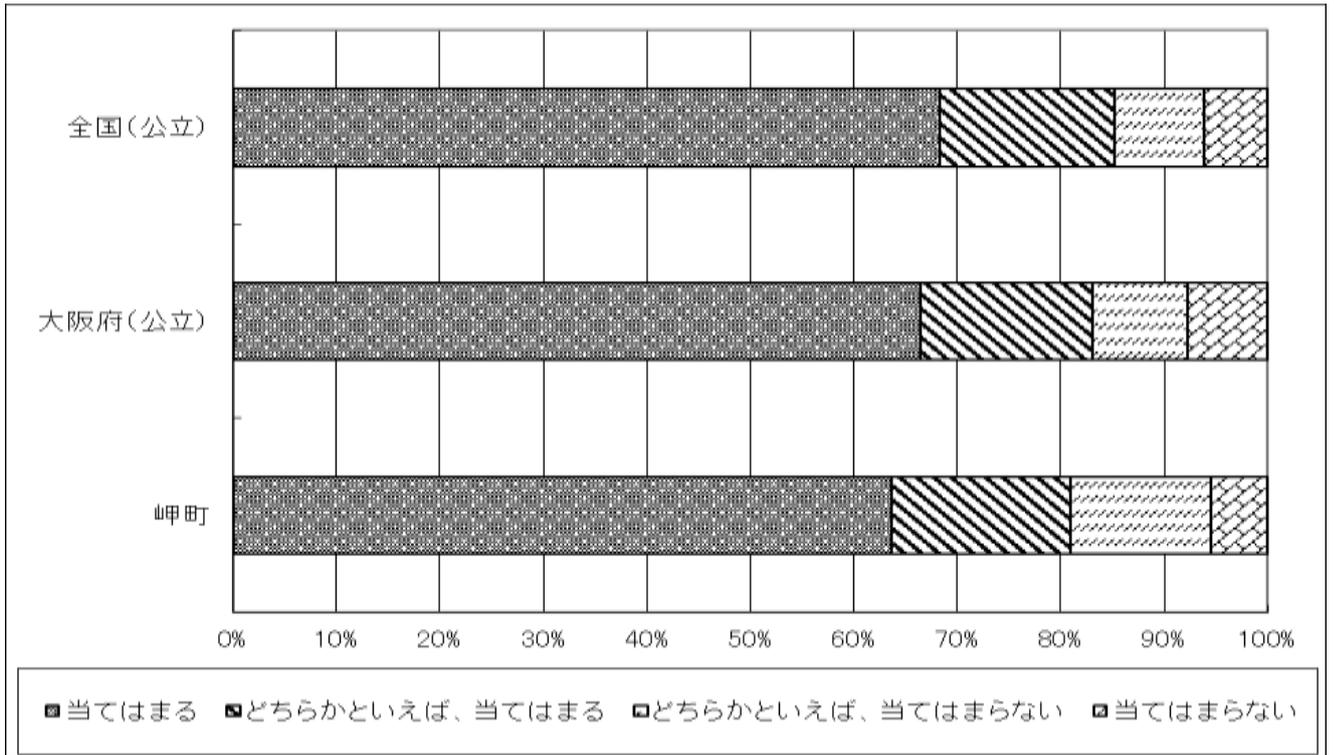


1. 先生は、あなたのよいところを認めてくれていますか（中学校）

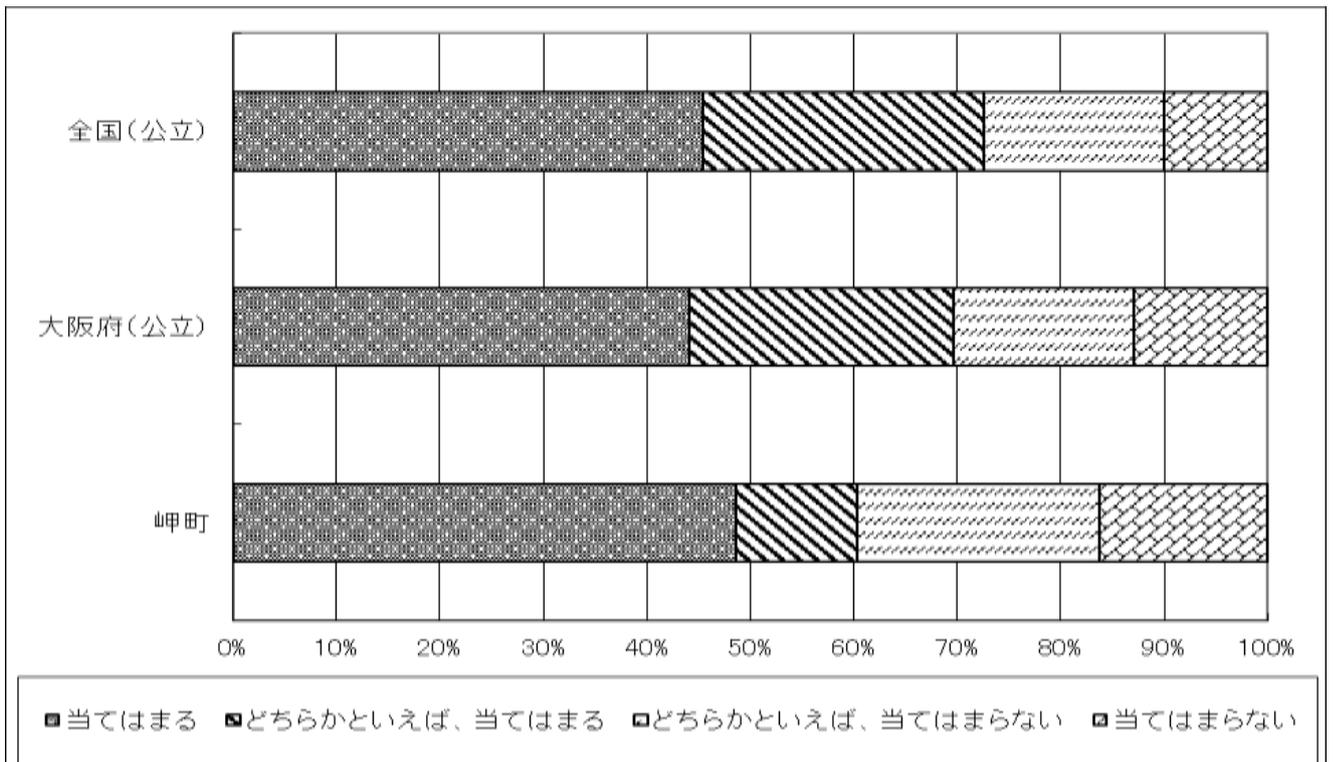


●小学校では、全国平均よりも肯定的回答が上回っている。今後も、小中学校共に児童生徒のよいところを積極的に評価し、自尊心を高めていくことが必要である。

2. 将来の夢や目標を持っていますか（小学校）

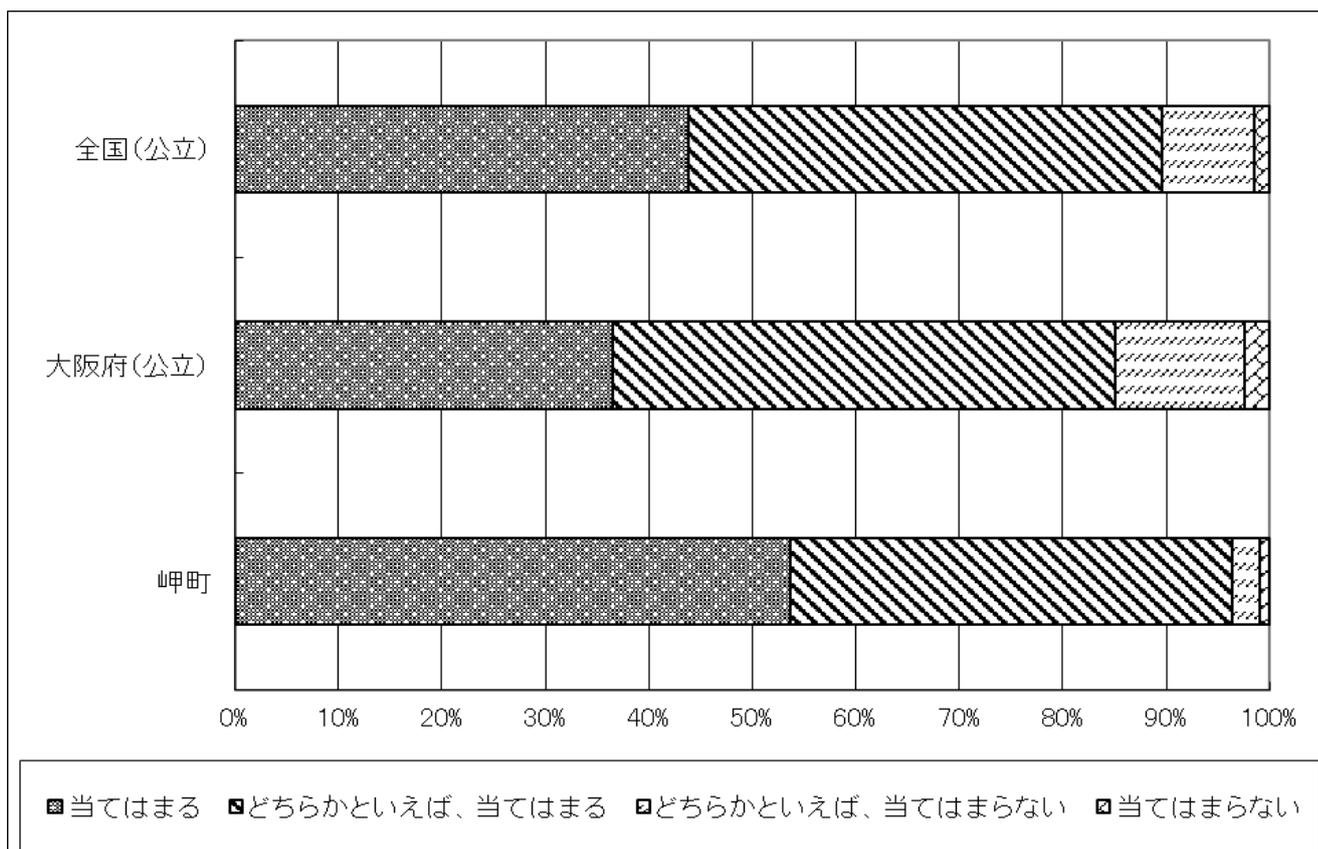


2. 将来の夢や目標を持っていますか（中学校）

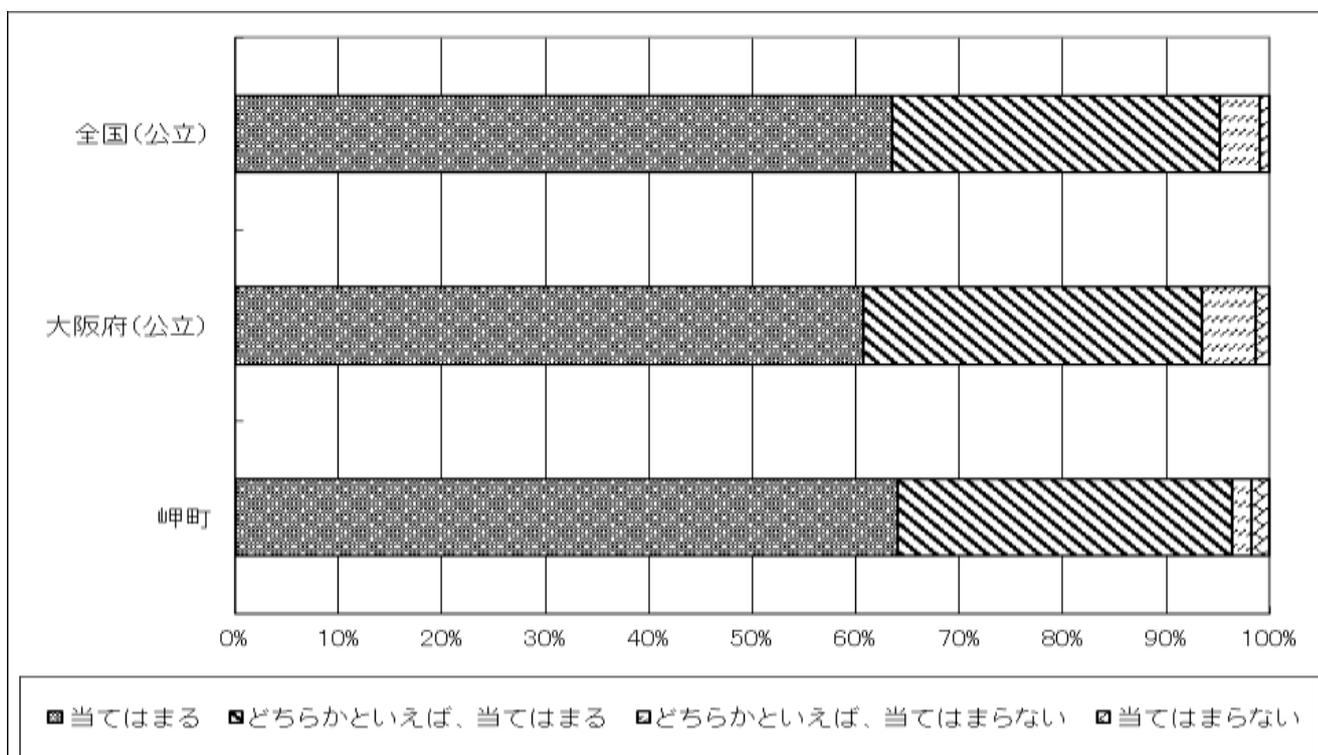


●小学校では、全国平均よりも肯定的回答が下回っていて、中学校では二極化の傾向が見られる。実態に応じたキャリア教育を推進していく必要がある。

3. 学校のきまりを守っていますか（小学校）

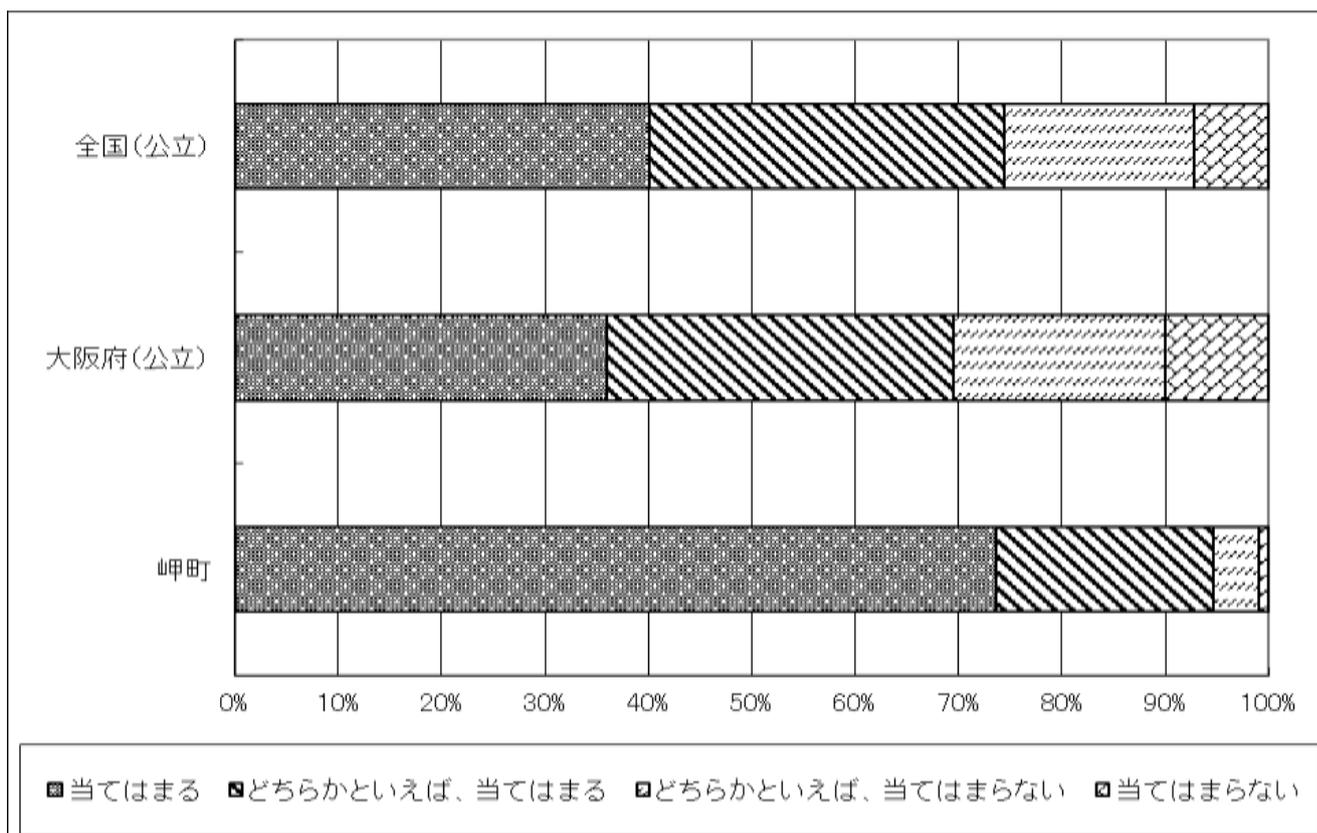


3. 学校のきまりを守っていますか（中学校）

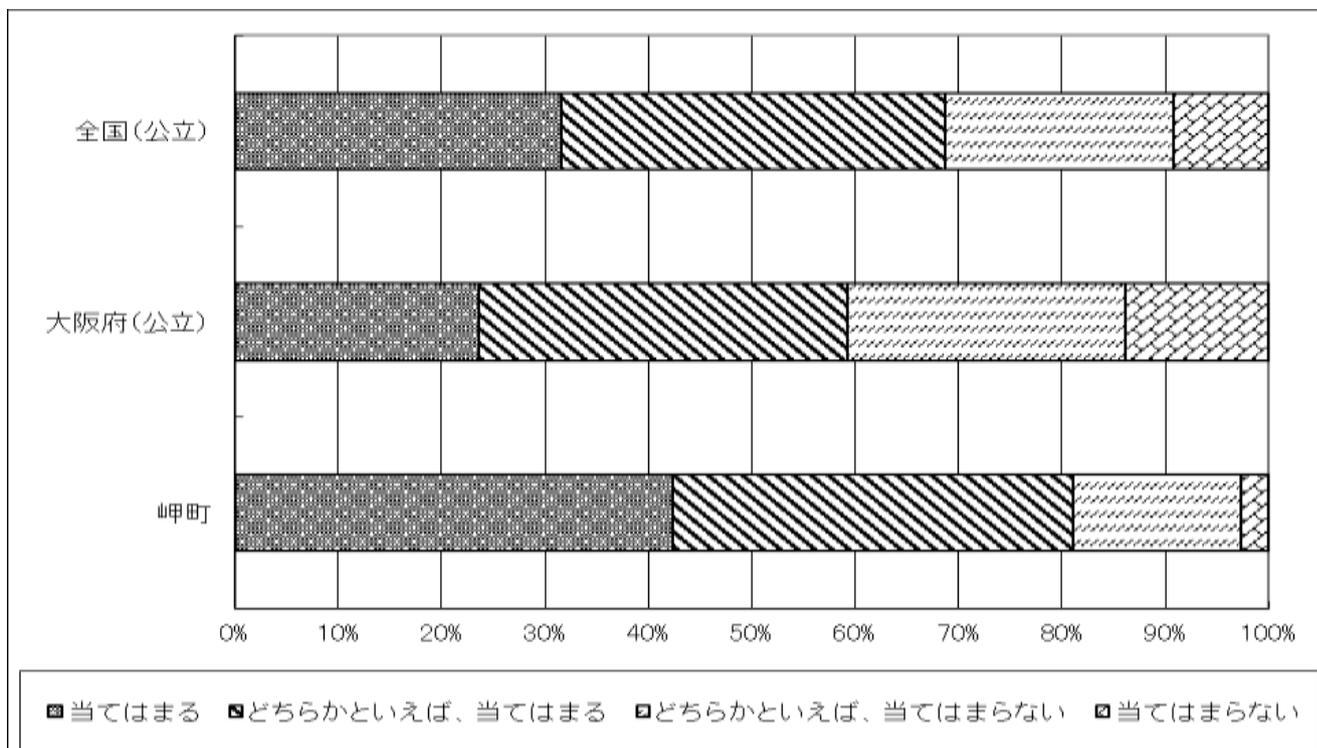


○小中共に、きまりを守る意識が高い。生徒指導や人権教育のとりくみによる成果であると考えられる。

4. 地域のことを調べたり、地域の人と関わったりする機会があったと思いますか(小)

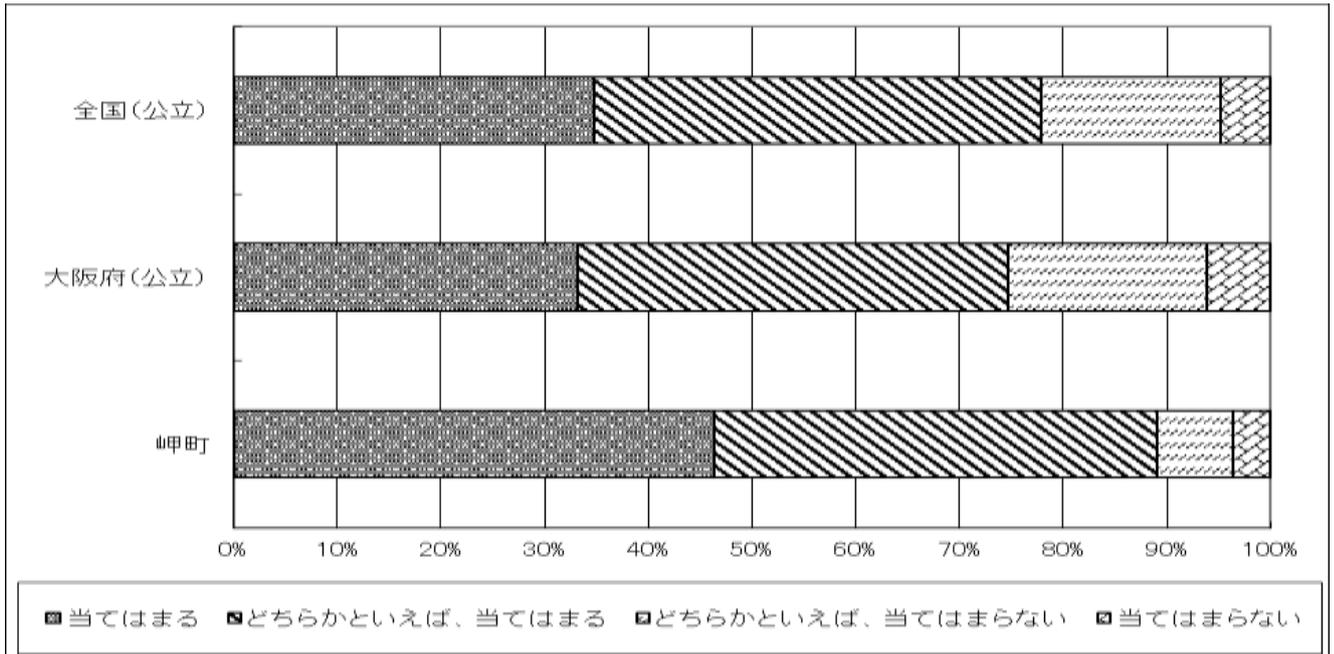


4. 地域のことを調べたり、地域の人と関わったりする機会があったと思いますか(中)

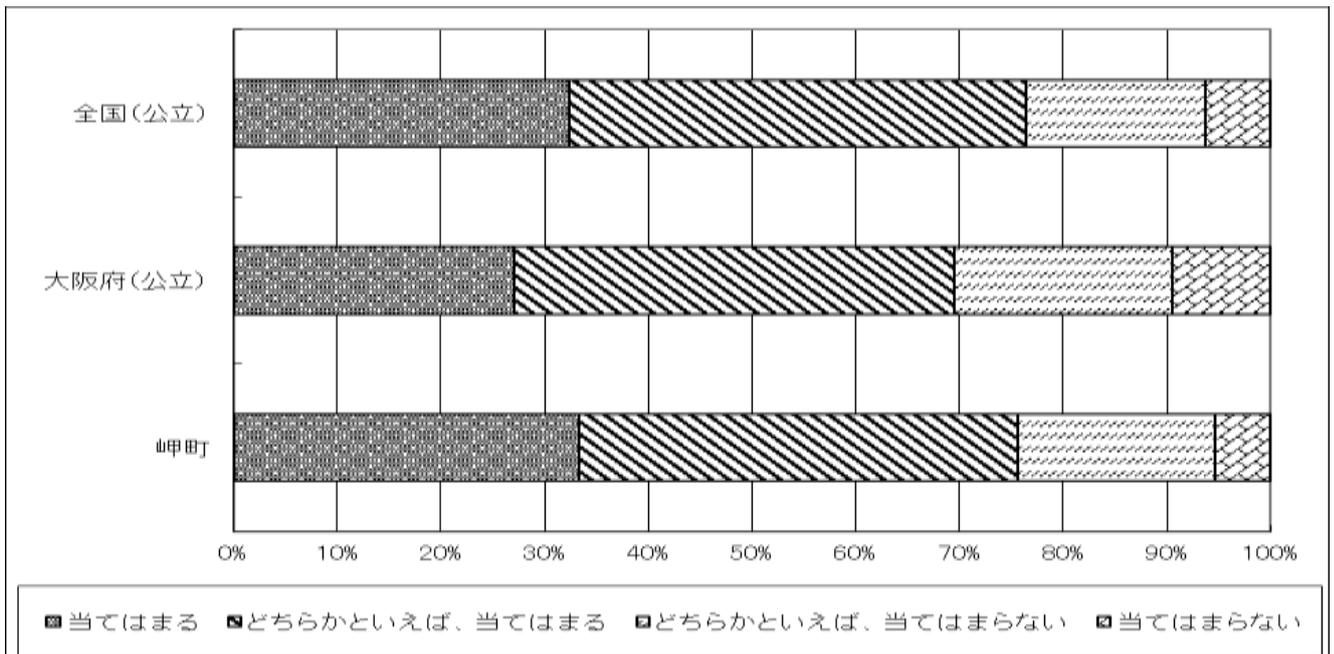


○総合学習や人権教育の取組み、福祉教育など地域との関わりが深い。岬町の特徴でもある地域と共に子どもを育てる取組みを今後も継続したい。

5. 学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、
広げたりすることができていると思いますか（小学校）



5. 生徒の間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、
広げたりすることができていると思いますか（中学校）



○小学校においては、肯定的回答が全国平均を上回っていて、中学校もほぼ全国平均と同様である。新学習指導要領の全面実施に向けて、主体的で対話的な深い学びを今後も研究していく必要がある。